

TL レベル	関係機関								
	防災情報		報道	大規模避難・救助			社会基盤		
	鳥取地方 気象台	鳥取県 県土整備部 河川課	日本海 ケーブルネットワーク 株式会社 鳥取	鳥取県 警察本部 警備第二課	鳥取県 東部広域 行政管理組合 消防局	中国電力ネットワーク 株式会社 鳥取ネットワークセンター 変電課	鳥取ガス 株式会社	JR西日本株式会社 米子支社 安全推進室	日本交通 株式会社 鳥取
0		大雨・洪水・強風・波浪注意報の確認 出水前チェックリストの作成・報告はしない → 詳細を確認。状況によりタイムラインの 改定を検討。							
		災害協定業者への連絡は鳥取県士が行 います → 詳細を確認。状況によりタイムラインの 改定を検討。							
1	9月2日14時00分頃 気象台から台風説明会の開催に関する メール送信を行ったが、送信エラーとなっ たメールアドレスが一部あった(下記メール アドレス参照)。共にドメイン名が同じであ るため、迷惑メールの設定が関係してい るのではないかとと思われる。 送信エラーとなったメールアドレス *****@***** *****@***** *****@***** *****@***** *****@***** →システム(試行版)の試行運用により解 消。	鳥取県の気象情報の確認	10月17日6時00分頃 想定日時ではなく、実際の日時(9月2日 14:00)のメールを受信				TLレベル移行時に「千代川水害TL(リンク集)」 と各機関のTL毎の動向が確認できる「03 千 代川水害TL 千代川TL訓練【詳細版】」のよ うなものが添付されていると、確認しやすい。 →情報発信メールを作成する。	鉄道は情報共有として、2日前に「計画運 休の可能性」を、1日間に「計画運休の決 定」をプレス発表したものをメーリングリス トに投稿します。 ただし、支社内の対策会議を経て決める ので、タイムラインの進行から遅れた時刻 に情報共有する場合があるのでご承知お きください(例えば、夜中にタイムラインレ ベルが上がった場合など)。 →本検討会で確認・共有。	
		TL1 河川課による現地確認はありません。 → 詳細を確認。状況によりタイムラインの 改定を検討。 水防警報・水防体制の連絡についてよくわ からない。 → 詳細を確認。状況によりタイムラインの 改定を検討。 水防警報(水防団待機水位)を受けたら、 トリビメールで住民への周知を行います。							
2		注意報の確認(危険度分布・予測の確認)	10月17日18時00分頃 各機関の動きが分かる情報収集に役 立った。		9月2日14時30分頃 鳥取市危機管理課から「避難所の開設」につい て、鳥取市ホームページでの確認を促す内容で したが、こういった情報の集約の場として、県が 運用開始している「鳥取県災害情報配信システ ム」もまた、存在しています。今回参加した各機 関が情報収集する場を、鳥取市ホームページと するのかが、県の災害情報配信システムなのか、 確認しておきたい。 →本検討会で確認・共有。	<ライプライン供給情報の収集>TLレベル183、2 89、404、525 第3階層に記載を。 記載内容「ライプライン供給情報の確認(HP)」 →詳細を確認。状況によりタイムラインの改定を 検討。			
		雨量情報の収集・確認: TL2、TL5について項目なし 追加が必要 → 詳細を確認。状況によりタイムラインの 改定を検討。							

TL レベル	関係機関								
	防災情報		報道	大規模避難・救助			社会基盤		
	鳥取地方 気象台	鳥取県 県土整備部 河川課	日本海 ケーブルネットワーク 株式会社 鳥取	鳥取県 警察本部 警備第二課	鳥取県 東部広域 行政管理組合 消防局	中国電力ネットワーク 株式会社 鳥取ネットワークセンター 変電課	鳥取ガス 株式会社	JR西日本株式会社 米子支社 安全推進室	日本交通 株式会社 鳥取
3		洪水予報の連絡が入ると、トリビメールにて住民に周知します。	10月18日9時00分頃 各機関の動きが分かる情報収集に役立った。		9月2日14時40分頃 水害リスクラインについて、手順通り(資料2 P14～)活用したが、端末によって、表示画面の一部が欠けることがあり、活用できなかった。 →端末の表示設定等を変更し、ご対応をお願いします。	<内水被害状況の情報収集について> 277・395:鳥取河川国道事務所(河川管理課)により情報発信することとなっているが、どのHPでどのような情報が得られるのか。 →詳細を確認。状況によりタイムラインの改定を検討。			14時32分頃 バス運休情報の提供の際、表題を誤ってしまった。(すぐに再送信し対応)
		警報の確認(危険度分布の確認、予測の確認)				<ライプライン供給情報の収集>TLレベル183, 289, 404, 525 第3階層に記載を。 記載内容「ライプライン供給情報の確認(HP)」 →詳細を確認。状況によりタイムラインの改定を検討。			
		FAXやHP利用、気象庁への聞き取り等による気象情報の収集・確認についてTL2、4、5にあるがTL3にないのはなぜか。 →詳細を確認。状況によりタイムラインの改定を検討。							
4		洪水予報の連絡が入ると、トリビメールにて住民に周知します。	10月18日14時00分頃 各機関の動きが分かる情報収集に役立った。			<内水被害状況の情報収集について> 277・395:鳥取河川国道事務所(河川管理課)により情報発信することとなっているが、どのHPでどのような情報が得られるのか。 →詳細を確認。状況によりタイムラインの改定を検討。		警戒レベル4になった際に、例えば鳥取駅を閉鎖するかどうかは地元自治体(この場合は鳥取市)の避難指示の有無で判断することになります。 実際に平成30年に避難指示が出た際には、出た時点で鳥取市役所へ電話で問い合わせ「鳥取駅の場所は大丈夫です」と教えていただいたので駅は閉鎖しなかったことがあります。 (想定では、運休中なのでお客様は駅にはいらないとしています)	
		大雨・洪水警報の確認(継続) 注意報・警報の確認について項目を一致したほうがよい →詳細を確認。状況によりタイムラインの改定を検討。				<ライプライン供給情報の収集>TLレベル183, 289, 404, 525 第3階層に記載を。 記載内容「ライプライン供給情報の確認(HP)」 →詳細を確認。状況によりタイムラインの改定を検討。			
5		水位情報の収集・確認についてTL4との違いについて →詳細を確認。状況によりタイムラインの改定を検討。	10月18日16時00分頃 各機関の動きが分かる情報収集に役立った。			<ライプライン供給情報の収集>TLレベル183, 289, 404, 525 第3階層に記載を。 記載内容「ライプライン供給情報の確認(HP)」 →詳細を確認。状況によりタイムラインの改定を検討。		今までTLレベル5(越水)になったことが無いので想像ですが、当社もおそらく被害が出ていると思います。ただ、被害状況の把握は台風が過ぎ去ったあとの時間なので、TLレベル5になってからかなりの時間が経過してから(例えば翌日)被害状況の把握・共有と運転計画のプレス発表を行うことになると思います。	
		洪水予報の連絡が入ると、トリビメールにて住民に周知します。 雨量情報の収集・確認: TL2、TL5について項目なし追加が必要 →詳細を確認。状況によりタイムラインの改定を検討。							

TL レベル	関係機関								
	防災情報		報道	大規模避難・救助		社会基盤			
	鳥取地方 気象台	鳥取県 県土整備部 河川課	日本海 ケーブルネットワーク 株式会社 鳥取	鳥取県 警察本部 警備第二課	鳥取県 東部広域 行政管理組合 消防局	中国電力ネットワーク 株式会社 鳥取ネットワークセンター 変電課	鳥取ガス 株式会社	JR西日本株式会社 米子支社 安全推進室	日本交通 株式会社 鳥取
その他 (要望 等)		水位情報の確認: TL0~1は「発」、 TL2は項目なし、 TL3~5は「取」 項目の一貫性を願います。 <i>→詳細を確認。状況によりタイムラインの 改定を検討。</i>		○全体を通じて 予想以上に情報量が多く、端末要員の配 置の必要性を感じた。情報自体は有用であ ると感じた。	全ての時間帯をとおして、メールのタイトルに「交 通情報」といった分類の記載があると、気づきが 早い。また情報がメールとして集積されていく ので、「検索」機能を使用した整理が、各機関と も容易になると考える。 <i>→情報発信ルールを作成する。</i>	<中国電力HPについて> 「千代川水害タイムラインリンク集」にて中国電力 HPが閲覧可能だが、停電情報については中国 電力ネットワークHPにて閲覧となっている。リンク 先を http://www.teideninfo.enegia.co.jp/ に変更 願います。 <i>→対応済み。</i>		【自機関早見版】を確認しました。 確かに、ピンクの点線で囲われた項目は 抜けている(記載があったほうがよい)と思 う点がありました。今後(今年度)の修正に なるのでしょうか？ <i>→詳細を確認。状況によりタイムラインの 改定を検討。</i>	
		369、489、603、河川課から直接の情報 提供はない。トリバーメールのみ、行動手 段からの削除を願います。 <i>→詳細を確認。状況によりタイムラインの 改定を検討。</i>		○メールの受信について 送信されたメールは全て良好に受信した		<各情報の発信・収集について> メーリングリスト以外の情報発信・収集方法を、第 3階層に記載したほうが良いと考える。(一部HP などの記載があるが、全てに記載を) <i>→詳細を確認。状況によりタイムラインの改定を 検討。</i>			
				○気が付いた点 送付されるメールについては、忙しい中で 配信されるためできるだけ簡略した内容とな っていると思いますが、可能であれば 何時現在の情報なのか？ 何時時点の出来事なのか？ を記載していただくと対応する側としては 情報の価値が上がるとともに、情報整理が し易くなると思われます。(ほとんどは記載 がりましたが、一部記載してほしいと思っ た内容があったもの) <i>→情報発信ルールを作成する。</i>		<メーリングリストによる送信者アドレス表示につ いて> 各関係先からメーリングリストへ情報を発信した 際、受信側にメール送信者のメールアドレスおよ び名前が表示される。メールアドレス・名前 の表示可否について関係個所の了解が必要かと。 <i>→システム(试运行)の试运行により解消。</i>			
				○警察からの情報発信について 警察からの情報発信は、広報資料として メール配信可能かどうかを組織で検討する 必要があるほか、広報内容もその都度決裁 をとる必要があると認められ、現時点で組織 検討していないため、情報発信する予定は ありません。(警頭署が一部提供してしま すが) 電話等での問い合わせ等であればある程 度の情報提供等は可能かと思いますが、文 面での配信となると、広報資料として決裁を とる必要があり、非常に手間です。かつ情報を 発信するタイミングでは実質的に即効性が なくなる可能性が大きいため、情報発信に ついては消極的に理しています。(正確性 のない情報発信はできない現状があるほ か、上局(警察庁)への合議も必要となるな ど、時間を要します。 <i>→詳細を確認。状況によりタイムラインの改 定を検討。</i>					